

# 東北地方 1か月予報

(2月2日から3月1日までの天候見通し)

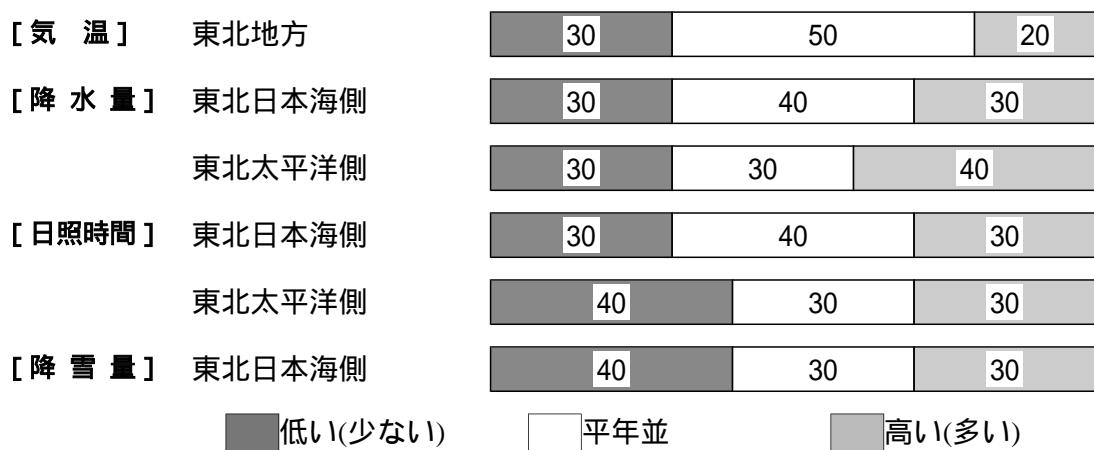
平成20年2月1日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

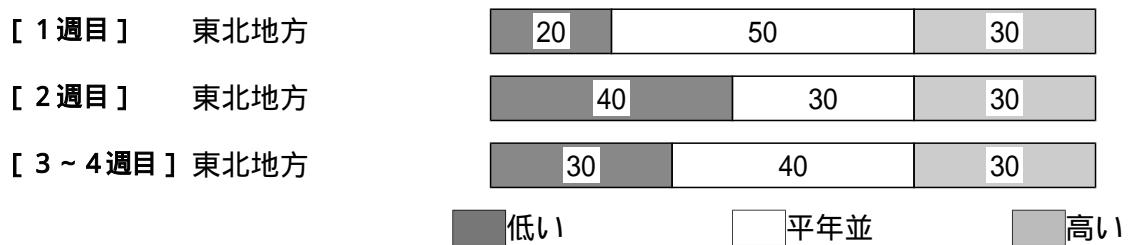
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

向こう1ヶ月の平均気温は、平年並の確率が50%です。  
週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 2月 2日(土) ~ 3月 1日(土)  
1週目 : 2月 2日(土) ~ 2月 8日(金)  
2週目 : 2月 9日(土) ~ 2月 15日(金)  
3~4週目 : 2月 16日(土) ~ 2月 29日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は2月8日  
3か月予報: 2月25日(月) 14時  
暖候期予報: 2月25日(月) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-1.0	114.8	77.9	202	-1.8	-1.4	-0.5
深浦	-0.1	77.9	52.5	115	-0.8	-0.5	0.3
むつ	-1.4	85.5	97.2	168	-2.1	-1.8	-1.0
八戸	-0.8	52.5	137.5	104	-1.6	-1.2	-0.3
秋田	0.3	93.7	69.8	118	-0.4	0.0	0.7
盛岡	-1.5	55.6	134.5	97	-2.4	-1.8	-0.9
大船渡	1.0	57.0	146.8	29	0.3	0.7	1.4
宮古	0.3	77.9	157.1	71	-0.3	0.1	0.7
仙台	1.8	48.1	156.9	33	1.1	1.6	2.2
石巻	1.0	43.7	168.8	22	0.2	0.8	1.4
山形	-0.1	69.1	104.8	147	-0.8	-0.4	0.3
新庄	-0.8	143.8	60.5	241	-1.5	-1.1	-0.4
酒田	1.6	114.7	64.5	118	0.9	1.3	1.9
福島	1.9	50.1	151.0	66	1.2	1.7	2.3
若松	-0.2	68.3	101.7	159	-1.0	-0.5	0.2
白河	0.6	41.6	159.5	52	-0.1	0.4	1.0
小名浜	3.8	60.9	179.7	0	3.1	3.6	4.2

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.5	78～111	97～104	79～116
東北日本海側	-0.4～+0.5	93～108	91～107	89～115
東北太平洋側	-0.4～+0.6	63～119	98～104	71～119

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.6～+0.8	-0.8～+0.9	-0.6～+0.7
東北日本海側	-0.6～+0.8	-0.8～+0.9	-0.6～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.9	-0.8～+1.0	-0.6～+0.7

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成20年2月1日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(2月2日~3月1日):

冬型の気圧配置となる日は少なく、低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並の確率が50%です。

### 1週目(2月2日~2月8日):

気圧の谷や寒気の影響で、曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側の沿岸部では、天気は数日の周期で変わり、期間のはじめと期間の後半には雪または雨の日がある見込みです。

平均気温は平年並の確率が50%です。

### 2週目(2月9日~2月15日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

### 3~4週目(2月16日~2月29日):

冬型の気圧配置となる日は少なく、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

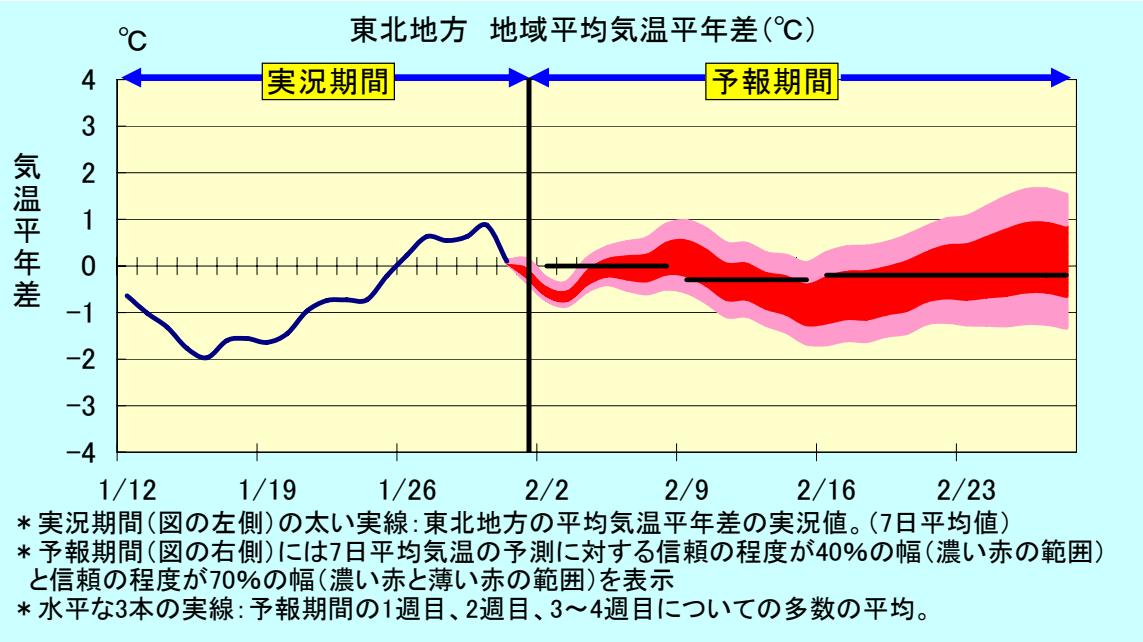
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	6.6日	1.4日	1.6日	3.6日
東北太平洋側	17.7日	4.7日	4.6日	8.4日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに平年付近の予想となっている。

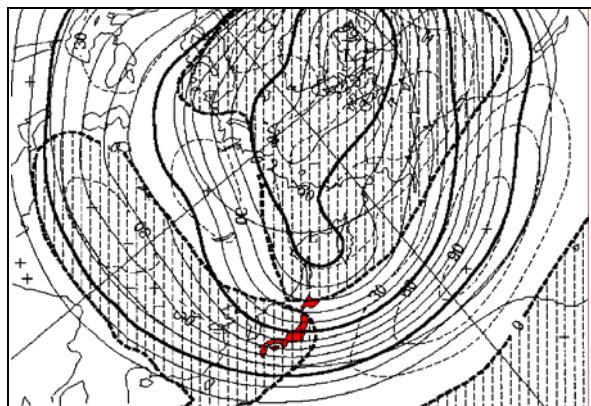


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：中国東北区はバイカル湖の西に中心を持つ正偏差域で、日本の東海上の北太平洋北部も強い正偏差となる。日本付近は北海道南部を除き負偏差で西谷傾向。地上天気図（図略）では日本付近の東西の等圧線の間隔は広く冬型の気圧配置は弱く、また、日本の南海上にやや強い降水域があり低気圧の影響が予想される。

1週目：極東域は極から続く負偏差で、日本付近も北海道を除き負偏差。日本付近は相対的な西谷傾向で、地上天気図（図略）では冬型の気圧配置は弱く、気温は平年並となる見込み。

2週目：関東以北はオホーツク海付近を中心を持つ負偏差となる。一時冬型の気圧配置となり、寒気の影響を受ける見込みだが、日本付近の等高度線は東西になだらかで、天気は短い周期で変わることとなる見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

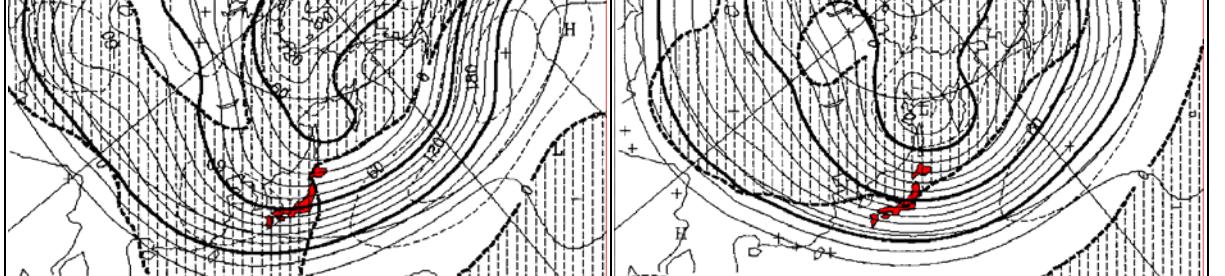
ただし平年差の間隔は 30m 毎)

1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

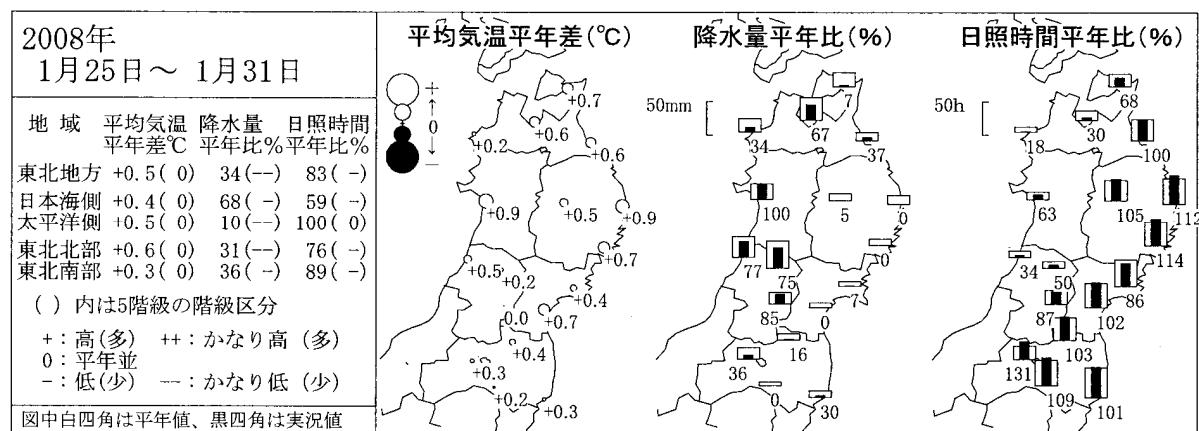
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する



### 4. 最近1週間（1月25日～1月31日）の天候の経過

期間のはじめは冬型の気圧配置となり、東北日本海側と北部を中心に雪となった。その後、移動性高気圧の影響で曇りや晴れとなるところがあったが、28日から29日には南岸低気圧や日本海の気圧の谷の影響で東北日本海側や南部を中心に雪や雨となるところがあった。30日以降は再び冬型の気圧配置となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)